

内部質保証の方針

1. 内部質保証の目的

本学は、教育・研究を含む全ての活動及びその運営において、継続的な自己点検・評価、及び改善・改革を行うことを通じ、神奈川大学の理念として掲げる教育と研究の高度な結合に基づく人材育成、地域社会への貢献、国際的展開の質を保証します。

また、それを実現するために、全構成員が組織的に取り組むと共に、関連する情報等を的確に公表することで、社会からの付託に応えます。

2. 内部質保証システム

全学的な内部質保証の中核を担う自己点検・評価全学委員会、及び担当事務組織を常設すると共に、各組織が行う自律的な点検・評価及び改善・改革を支援し、また、その活動の活性化・実質化を促すため、以下の内部質保証システムを構築します。

① 組織的・体系的な内部質保証システムの構築

本学は、関連諸規程の整備等を通じて内部質保証システムの体系化を図ると共に、組織間の連携強化を推進します。

② 自己点検及び評価結果等を踏まえた改善・改革の実施(PDCA サイクル)

本学は、教育目標や組織目標の実現に向け、それらの目標の達成状況及び各種課題の改善状況等に関する定期的な自己点検・評価を実施し、その結果を踏まえた改善・改革のための計画を策定し、これを実行します。

また、教職員一人ひとり、自己点検・評価活動の実施において、責任ある行動と態度で臨み、それぞれの職務に取り組めます。

③ データ収集及び活用に係る基盤整備

本学は、学内各組織が効果的・効率的に自己点検・評価及び改善・改革を実施できるよう、各種統計データ等の情報基盤の整備及び自己点検・評価に資する評価指標の開発に努めます。

④ 自己点検結果の分析及びその活用

本学は、自己点検・評価の結果について、認証評価団体による評価に加え、第三者による評価を組み入れる等、客観的な視点から評価・分析し、各種意思決定機関において必要な施策を検討します。

⑤ 学内外への情報公開

本学は、自己点検や改善・改革に係る情報、及び、本学が保有する教育・研究をはじめとする各種情報資源を、刊行物やホームページ等を通じて積極的に公開することにより、学内外の関係者及び社会に対する説明責任を果たします。

《中期目標》

1. 内部質保証システムの体系化を図るため、自己点検・評価全学委員会及び各種会議・委員会等の役割を明確にする
2. 組織間の連携強化のため、自己点検に係る教職員との情報共有に努める
3. 自己点検の定期的な実施と各組織における自律的な活動を支援する
4. PDCA サイクルに基づいた自己点検を推進する
5. 自己点検に資する情報や各種データの収集を強化する
6. 学生データ等を視野にいた情報基盤を整備する
7. 自己点検の結果を有益にすべく第三者評価等を導入する

8. 自己点検結果を踏まえた全学的な施策への昇華を促進する
9. 情報公開範囲の拡大・精選を検討する
10. 自己点検・評価活動に係る情報を迅速に公開していく